

会社案内

Corporate Profile

④ 株式会社日吉回漕店
Hiyoshi Kaisoten, Limited

④ 宮崎日吉産業サービス株式会社
Miyazaki Hiyoshi Industrial Services, Limited

④ 株式会社日吉
Hiyoshi & Company, Limited



本店の正月風景（昭和初期）
The staffs of the corporate headquarters celebrated the New Years Day circa late 1930's

ごあいさつ

Greeting

山梨県甲府市で鉄道や運送など幅広く事業を営んでいた樋口半六（初代店主加賀美東一岳父）は国土が狭く資源の少ない日本は将来必ず貿易立国になる事を予見、港湾関連事業が必須と考え、1914年（大正3年）横浜市太田町で日吉回漕店を創業致しました。

爾来100年、お取引先に信頼される誠実な企業である事を旨に、幾多の災害や戦災、激変する社会や経済状況を乗り越えて地道に業容を発展させて参りました。

近年の港湾関連事業は海上コンテナの導入や国際複合一貫輸送の発展等により、大きく姿を変えて参りました。私共もこれらの変化やお客様各位の戦略、戦術に機動的に対応し、工場構内作業の一括請負、究極のジャスト・イン・タイム・デリバリーを実現する「出保管倉庫システム」の開発と運営など今後発展が見込まれる分野への積極的な参入を図ると共に、ISO9001認証取得や人事制度、社員育成制度の刷新など社会や経済、産業の激しい変化に速やかに対応するだけでなく、それを先取りして新たな事業機会とする企業体質作りを全社を挙げて推進しております。

創業以来100年に亘って築き上げた信用と、近年の厳しい物流合理化に機動的に対応して参りました技術をもって、お客様のご要望に沿い、皆様に信頼される誠実な企業であり続けるよう、役職員一同渾身の努力を致す決意でございますので、今後とも倍旧のご指導、ご鞭撻並びにご高誼を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

取締役社長 **加賀美 公一**

Mr. Hanroku Higuchi !father-in-law of the company's first president Mr. Toichi Kagami", an entrepreneur involved in various endeavors from railways to forwarding in Kofu city, Yamanashi, established Hiyoshi Kaisoten in Ota-machi, Yokohama in 1914. Mr. Higuchi had a vision that the future of Japan, with limited land and resources, would be built on trade and commerce, with the port transportation business, such as forwarding, longshoring, stevedoring and customs clearance becoming the key to that growth. In the 100 years since, the company has steadily expanded its business while overcoming a series of natural disasters, war, as well as ever-changing socio-economic conditions, while abiding by the principle of being a sincere enterprise that is trusted by its customers.

The port transportation business has been dramatically changed in recent years with such innovations as marine containers and international intermodal transport, and we have responded flexibly to these changes to meet the strategies and tactics of our customers. We will continue to engage actively in various promising fields such as comprehensive contracting of in-plant tasks, development and operation of on-site storage/delivery "Dehokan-soko" system that realizes the ultimate just-in-time. Also the company as a whole will strive to create a corporate structure that will not only allow us to respond rapidly to societal, economic and industrial changes !e.g., acquiring ISO9001 certification and revamping human resources/employee training programs", but also enable us to create new business opportunities proactively.

The company as a whole will strive to remain a sincere enterprise that is trusted by its customers, building on the trust that we have built 100 years since our founding and with the technology that has enabled us to respond flexibly to the recent, severe streamlining of the distribution sector. We appreciate the kindness that you have afforded us over the years and we sincerely hope to continue receiving your guidance and encouragement.

Koichi Kagami, President/C.E.O.

株式会社日吉回漕店

社名の由来

Origin of the company name

「日吉」の命名

創業者樋口半六は「商売をするのに太閤になってはいけない。常に草履取りの気持ちで仕事に精を出しなさい。」と云って太閤秀吉の幼名「日吉丸」に因んで命名致しました。

「回漕店」の起こり

「回漕」は「回船運漕」の略語です。室町時代以降、海上輸送に従事した大型木造帆船が「回船」ですが、江戸時代末期以降「汽船」がそれに取って変わってゆきました。仕事が減った回船は大型汽船接岸施設が無い河岸と汽船の間の貨物輸送を手懸け「回船運漕」と呼ばれました。この仕事を請け負ったのが回漕店です。明治以降、回船の仕事は次第に「舩（はしけ）」が担う様に成りました。

The name "Hiyoshi"

Company founder Mr. Hanroku Higuchi named the company after "Hiyoshi-maru," the childhood name of the Shogun Toyotomi Hideyoshi, based on the credo "those involved in business must not act regal; work industriously to serve the customers."

Establishment of forwarding business "Kaisoten"

The term "Kaiso" (forwarder) is the abbreviated form of "Kaisen-unso." Large-scale wooden sail liners "Kaisen" engaged in shipping as early as the Muromachi period (1336-1573), and were ultimately replaced by steamships in the late Edo period (1603-1868). Kaisen then handled the transfer of cargo between these large steamships and piers that had no berthing facilities for large steamships, and this came to be known as "Kaisen-unso" (forwarder, or literally, shipping by Kaisen), and the "Kaisoten" (forwarding businesses) performed this task.

Since the Meiji period (1868-1912), the role of the kaisen sail ships has gradually been taken over by barges.

理念

Our philosophy

お客様にご満足いただき、地域社会に愛され、時を超えて発展し続けるため、信頼のチーム・ワークと明るく安全な職場で、卓越した事業運営を行います

We strive to perform our business operations with distinction, with trustworthy teamwork in a cheerful and safe workplace, in order to satisfy our customers, be well received by the local community and continue to develop over time.

経営方針

Management Principles

- 一、お客様にご満足いただける優れた商品や心のこもったサービスを、末永く地道に提供し続けます。
- 一、個人の特長や創造性を伸ばす教育と公正な評価をもとに、倫理を重んじ、基本を重視、且つ自律的に仕事に取り組み、働き甲斐があり、夢が実現できる職場を実現します。
- 一、「日々革新」の信念をもって、現状に囚われず、創造性やチャレンジ精神に富んだ改善、改革を積み重ね、生産性の持続的向上を図ります。
- 一、継続的な労働安全衛生教育や5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の徹底、安全運転五則（①飲酒運転厳禁 ②安全速度遵守 ③カーブ手前で必ず減速 ④交差点で安全確認 ⑤一時停止で横断歩行者の安全確保）遵守で、総合無災害を達成します。
- 一、地域に密着した企業活動を行い、その発展や環境の保全に努めます。

1" We will always endeavor to provide exceptional merchandise and heartfelt services that will satisfy our customers.

2" We will undertake our business endeavors with a sense of duty, a respect for fundamentals and self-reliance, based on fair evaluation and training that expands individual strengths and creativity, to realize a rewording workplace where dreams are fulfilled.

3" Based on the principle of "daily innovation," we will promote creative-driven, challenging reforms and upgrades, never content with the status quo, and continuously strive to improve productivity.

4" We will strive to achieve an overall, accident-free workplace through continuous labor safety and health training, thorough implementation of the "5S" = Seiri !tidiness", Seiton !orderliness", Seisou !cleanliness", Seiketsu !neatness" and Shitsuke !discipline", and compliance with the five principles of safe driving: !1" Strict prohibition of drinking under the influence, !2" abide by safe driving speed, !3" decelerate before turning curves, !4" check traffic at intersections, and !5" stop to secure the safety of pedestrians.

5" We will implement community-based corporate activities to contribute to its development while participating in environmental conservation.

沿革

- 大正3（1914）年11月3日 山梨県南巨摩郡（現南アルプス市）増穂村出身の実業家 樋口半六（初代社長加賀美東一岳父）横浜市太田町で日吉回漕店を創業、港湾運送事業を始める。
- 大正12（1923）年9月 関東大震災により店舗、船舶、車輛等の全てを焼失。
- 大正13（1924）年11月 店舗を現本店所在地（横浜市住吉町6丁目66番地）に移転新設、業務を再開。
- 昭和5（1930）年9月 横浜市中区住吉町6丁目66番地に第一倉庫竣工。
- 昭和5（1930）年10月 東京都日本橋区箱崎町2丁目1番地に東京営業所開設。
- 昭和6（1931）年2月 横浜市区高島町11番地 内国貿易地帯に「内貿倉庫」竣工、同年4月に鉄道側線開通。
- 昭和6（1931）年9月 満州事変勃発以降、莫大な数量の陸軍燃料廠関係軍需揮発油、潤滑油の本船荷役に従事。
- 昭和13（1938）年4月 当社鉄道部門を中核として同業14社を統合、横浜運送株式会社を設立、店主加賀美東一が取締役社長に就任。帝国陸軍燃料廠の油類の輸送・保管を行う為、日新運輸株式会社並びに株式会社金丸回漕店と共に東亜運輸株式会社を設立。
- 昭和14（1939）年9月 第二次欧州大戦勃発後は横浜港ウラジオストック港中継シベリア鉄道經由ドイツ向け大量貨物の輸送に従事。
- 昭和15（1940）年10月 帝国陸軍統制令に依り横浜運送株式会社を統合母体として横浜各駅合同運送会社（現日本通運株式会社横浜支店の前身）設立、従業員と陸上輸送機材一切を供出。
- 昭和16（1941）年6月 独ソ戦開戦後は、横浜来航ドイツ船舶への軍需物資本船荷役作業を一手に請け負う。
- 昭和17（1942）年12月 国家総動員法に基づく水上運送等統制令施行に依り、港湾運送関係事業の営業権、従業員の大部分並びに曳船、艀船の全てを統制会社横浜港運株式会社（後に京浜運輸株式会社に改称）に供出、残余の僅かな従業員、倉庫、貨物自動車、機帆船を以て乙仲関係事業を継続。
- 昭和20（1945）年3月 戦災に因り東京営業所焼失。同年5月、本店並びに全倉庫が戦災に因り焼失。
- 昭和20（1945）年10月 本店、内貿倉庫焼け跡並びに出田町埠頭土地（3,900坪）を進駐軍が接収。
- 昭和21（1946）年1月 横浜市中区宮川町3丁目74番地に本店仮営業所を開設、乙仲関係事業を再開。
- 昭和22（1947）年1月 東京都港区芝西久保桜川町26番地に東京営業所開設。同年2月、本店仮営業所を木造2階建200坪に増改築。同年4月、横浜市区高島町9番地に高島倉庫竣工。
- 昭和23（1948）年1月 株式会社に改組、店主加賀美東一代表取締役就任。同年10月、閉鎖機関令に依り閉鎖機関に指定された京浜運輸株式会社解体に伴い営業権や供出従業員、曳船、艀船の帰属を得て港湾運送事業を再開。
- 昭和24（1949）年4月 横浜市区高島町11番地日内貿倉庫跡地に倉庫を再建。
- 昭和26（1951）年8月 港湾運送事業法施行による一般港湾運送事業の運輸大臣登録完了。
- 昭和27（1952）年1月 日本石油精製株式会社横浜製油所の建設に伴い横浜市神奈川区守屋町に営業所を開設、同所建設に係わる資機材輸入業務、重機・建設機械の運用、資機材倉庫の管理運営等を幅広く受注、当社戦後復興の端緒と成り、又得意先工場構内諸作業請負の先駆けと成った。以降昭和33年4月に日本石油化学株式会社塩浜工場、同年10月に千鳥工場、昭和36年8月に日本石油精製株式会社根岸製油所の建設工事関連諸作業も受注、竣工後も構内諸作業や従業員食堂の運営を受注したが、昭和51年に分離、独立させた。
- 昭和33（1958）年4月 東京都所在一般区域貨物自動車運送事業者日吉運輸株式会社の営業権を掌握。同年6月に日吉陸送株式会社と改称、当社陸運部門を同社に移管。
- 昭和34（1959）年2月 旧本店敷地が駐留軍より接収解除、返還され日吉ビル（鉄筋コンクリート4階建、延べ2,145m²）を建設、本店を移転。
- 昭和34（1959）年4月 宮崎県日向市細島667番地に南九州細島営業所を開設。
- 昭和36（1961）年12月 福岡県戸畑市（現北九州市）川代町商港埠頭に営業所並びに倉庫を開設、八幡製鐵株式会社（現新日鐵住金株式会社）八幡製鐵所向け製鋼副原料のジャスト・イン・タイムデリバリー方式「出保管倉庫システム」の運用を開始。同営業所の営業権、施設は昭和51年1月に日本重化学工業株式会社子会社の日重商事株式会社（現日鐵運輸倉庫株式会社）に譲渡。
- 昭和37（1962）年11月 株式会社鐵興社の宮崎県日向市への工場進出計画に伴い、原料や製品の船荷役、工場構内諸作業を受注すべく日向運輸株式会社株式の過半を買収、当社社長加賀美東一が社長に就任。
- 昭和39（1964）年4月 株式会社鐵興社日向工場（現東ソー日向株式会社）開設に伴い、宮崎県日向市細島に出張所を開設、原料（マンガン鉱石）の本船荷役、通関、生産ラインの保守整備作業等の構内作業を受注。
- 昭和39（1964）年6月 港湾運送事業京浜港第1種、3種、4種の新免許取得。
- 昭和39（1964）年7月 神奈川県厚木市戸田長淵2500番地に厚木営業所を設置、生コンクリートの輸送業務を開始、平成9年1月 同事業を昇和輸送株式会社に譲渡。
- 昭和40（1965）年4月 大阪市西区江戸堀1丁目104番地に大阪事務所を開設。同年12月、内貿倉庫を鉄筋コンクリート4階建1,200坪に改築、高島埠頭倉庫竣工。
- 昭和42（1967）年10月 大阪事務所を神戸市葺合磯上通4丁目1-5に移転、神戸営業所開設。
- 昭和43（1968）年9月 同年11月の八幡製鐵株式会社（現新日鐵住金株式会社）君津製鐵所の第1高炉火入れに依る鉄鋼一貫体制確立に伴い、同所構内に営業所並びに合金鉄倉庫（第一期工事1,769m²）を建設、八幡製鐵所に引き続き「製鋼原料等出保管システム」の運用を開始。
- 昭和44（1969）年10月 君津製鐵所第2高炉火入れに伴い君津合金鉄倉庫第二期工事（1,074m²）竣工。
- 昭和46（1971）年7月 京浜港に於ける港湾運送事業を三星運輸株式会社と統合日三運輸設立。統合に依り港湾運送事業京浜港第1種、3種、4種免許並びに横浜通関業免許返納。
- 昭和46（1971）年9月 君津製鐵所第3高炉火入れ（粗鋼年産1,000万t体制確立）に伴い君津合金鉄倉庫第三期工事（1,073m²）竣工。
- 昭和47（1972）年3月 東京、神戸両営業所を日三運輸株式会社に譲渡。同年10月 江東営業所を千葉県香取郡神崎工業団地東芝モノラルックス株式会社構内に移転、神崎営業所開設。
- 昭和51（1976）年5月 日吉商事株式会社より建築資材・機器販売、給排水・空調・電気工事請負部門を移管、機工部開設。
- 昭和55（1980）年1月 古物商免許を取得し車輛、建設機械、産業機械等や部品の販売を開始。
- 昭和60（1985）年4月 東洋曹達株式会社（現東ソー株式会社）山形工場構内に事務所を設置、工場構内作業請負を開始。平成11年1月、工場閉鎖に伴い営業を終了。
- 昭和60（1985）年8月 三井金属鉱業株式会社機器事業部、ダイキャスト事業部の葦崎移転に伴い同所に営業所を設置、構内諸作業を請負う。平成13年12月、同所の営業権を葦崎興産株式会社に譲渡し営業所を閉鎖。
- 昭和63（1988）年10月 メトロポリタンモーターズ株式会社を設立しBMWディーラーを開業。同社を平成19年4月譲渡。
- 平成元（1989）年4月 宮崎日吉産業サービス株式会社設立、東ソー株式会社日向工場（現東ソー日向株式会社）の構内作業を移管。

平成元 (1989) 年12月	米国での事業機会開拓の為、新日本製鐵株式会社 (現新日鐵住金株式会社) とインランド・スチール社 (現ミッタル・スチール) 合併の冷延ミル/N Tek社至近の米国インディアナ州サウス・ベンド市に北米日吉 (Hiyoshi Corporation of North America) を設立。
平成3 (1991) 年2月	Nippon Steel U.S.A., Inc. (現Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A., Inc.) と米国三井物産株式会社の要請に依り和食レストラン「ひよし」をサウス・ベンド市 1st Source Bank Center ビル内で開業。
平成3 (1991) 年9月	輸入合金鉄 (撒) の増加に伴い君津合金鉄倉庫の一部を撒貨物置場に改修。
平成5 (1993) 年9月	株式会社日吉回漕店が一般区域貨物自動車運送事業の許可を取得、日吉陸運株式会社より新日本製鐵株式会社 (現新日鐵住金株式会社) 君津製鐵所関連のトラック輸送業務を移管。
平成6 (1994) 年9月	CGLミル/N Kote向け垂鉛地金の出保管倉庫事業の受注見込みが立たない為、和食レストラン「ひよし」を閉鎖し北米日吉を清算。
平成10 (1998) 年9月	君津合金鉄倉庫第四期工事(248m ²)竣工。
平成14 (2002) 年2月	日吉ビル (鉄骨鉄筋コンクリート造、7階建、延3,421m ²) 建替え新築工事竣工し、営業開始。
平成15 (2003) 年7月	東洋埠頭株式会社川崎支店構内に営業所を設置、三井物産金属原料株式会社 (現三井物産スチール株式会社) の鉄スクラップ保管、本船荷役作業を開始。平成21年2月営業所を閉鎖。
平成17 (2005) 年5月	創業90周年事業として全社で取り組んだ ISO9001 の認定審査が完了し認証取得。
平成17 (2005) 年8月	千葉県習志野市茜浜に営業所ならびに私営国際埠頭を設置、三井物産金属原料株式会社 (現三井物産スチール株式会社) 日吉茜浜製鋼原料ターミナルの運営開始、鉄スクラップや合金鉄、その他の輸出入貨物の受入検査、入出庫、保管、本船荷役作業を請負う。平成26年9月営業所を閉鎖。
平成24 (2012) 年10月	広島県竹原市に南九州細島営業所竹原出張所を開設、三井金属鉱業株式会社竹原製煉所向け原料の「出保管倉庫システム」の運用を開始。
平成26 (2014) 年1月	君津合金鉄倉庫第五期工事 (824m ²) 竣工、蔵置可能総噸数は1万2千t。
平成26 (2014) 年10月	創業100周年記念祝賀会を帝國ホテル孔雀東の閣で開催。
平成27 (2015) 年1月	新日鐵住金株式会社君津製鐵所構内当社君津営業所合金鉄倉庫前に80屯台貫を設置。同年4月、千葉県計量検定所で計量証明事業者の登録を完了。
平成27 (2015) 年3月	横浜商工会議所より創業100年会員企業顕彰を授与。
平成28 (2016) 年12月	全日本トラック協会より安全性優良事業所の認証取得。日本貿易振興機構より新輸出大国コンソーシアムハンズオン支援企業の認証取得。

History of the Hiyoshi Group of Companies

November 3, 1914	Hanroku Higuchi [the father-in-law of the first president Toichi Kagami], an entrepreneur from Masuho village, Minamikoma-gun [actually Minami-Alps city], Yamanashi established Hiyoshi Kaisoten in Ota-machi, Yokohama launched into the forwarding business. The Great Kanto Earthquake burned down whole offices, warehouses, vessels, vehicles and everything else.
September 1923	The corporate headquarters moved to the current address, business was resumed.
November 1924	
September 1930	Warehouse No.1 completed at 6-66 Sumiyoshi-cho Naka-ku, Yokohama.
October 1930	Tokyo Office established at 2-1 Hakozaki-cho Nihonbashi-ku, Tokyo.
February 1931	Domestic trade warehouse completed in domestic trade zone at 11 Takashima-cho Nishi-ku, Yokohama. Railway siding was opened in April of the same year.
September 1931	After breakout of the Manchurian Incident, we engaged in longshoring, stevedoring and forwarding of a vast amount of gasoline and lubricant of the fuel bureau of the Imperial Army of Japan.
April 1938	Yokohama Forwarding Co., Ltd. established through the integration of 14 railway companies under our Railway Division, with Toichi Kagami appointed as President. Toa Unyu Co., Ltd. established together with Nisshin Transportation Co., Ltd. and Kanemaru Kaisoten Limited to transport and store petroleum for the Fuel Bureau of the Imperial Army of Japan.
September 1939	After breakout of World War II in Europe, we engaged to forward a large amount of cargo to Germany from Yokohama via Vladivostok on the Siberian Railway.
October 1940	Yokohama Kakueki Godo Transport Co., Ltd. [predecessor of current Nippon Express Co., Ltd., Yokohama branch] established with Yokohama Forwarding Co., Ltd. as the core company, in accordance with the control act of the Imperial Army of Japan. All employees and land transportation equipment were provided.
June 1941	After breakout of Russo-German War, we single-handedly undertook longshoring, stevedoring and forwarding of the military commodities for German ships berthing at Yokohama port.
December 1942	Enforcement of the control act for water transport, etc. based on the National Mobilization Law, port transportation concessions, the majority of employees and all tug boats and barges provided to control company Yokohama Port Transportation Co., Ltd. (later renamed to Keihin Unyu Co., Ltd.). The freight forwarding business continued operating with the few remaining personnel, warehouses, trucks, and motorized sailboats.
March 1945	The Tokyo Office burned down due to war damage. The Headquarters and all warehouses burned down in May of the same year.
October 1945	The sites of the burnt out Headquarters, domestic trade warehouses and land of the Izuta-cho berth (12,893 m ²) were requisitioned by the occupation army.
January 1946	Temporary office for Headquarters opened at 3-74 Miyagawa-cho Naka-ku, Yokohama. Freight forwarding business started again.
January 1947	Tokyo Office opened at 26 Shiba-nishikubo Sakuragawa-cho Minato-ku, Tokyo. In February of the same year, the temporary Headquarters office was extended and renovated into a 2-story wooden building spanning some 661 m ² . In April of the same year, the Takashima Warehouse was completed at 9 Takashima-cho, Yokohama.
January 1948	Company changed to a joint-stock corporation, with president Mr. Toichi Kagami appointed as representative director. In October of the same year, Keihin Unyu Co., Ltd., designated as a closed institution in accordance with the closed institution act was dissolved and business rights, supplied employees, tug boats and barges returned and freight forwarding business resumed.
April 1949	Warehouse reconstructed on vacant lot of former domestic trade warehouse at 11 Takashima-cho Nishi-ku, Yokohama.
August 1951	With the implementation of the Port Transport Business Law, registration for the Minister of Transport for general port transport operations was completed.
January 1952	With the construction of Yokohama Oil Refinery of Nippon Oil Refining Company, we set up a branch office in Moriya-cho, Kanagawa-ku, Yokohama and were contracted for duties relating to the imports of equipments, its parts and materials, operations of construction machineries, management operations of warehouses, etc. Even after completion of the refinery, we continued to be contracted for various line-maintenance works. In 1958 and 1961, we also set up offices in Yokohama and Kawasaki area to start the same operations. We separated those operations in January, 1976.

April 1958	Assumed business rights of Nichi Nichi Unyu Co., Ltd., general cartage company in Tokyo. In June of the same year, the company changed its name to Hiyoshi Trucking Co., Ltd., and our Land Transportation Division transferred to that company.
February 1959	Upon release of the occupied land, construction began on Hiyoshi Building (reinforced concrete, 4 stories, 2,145m ² floor space) and the headquarters was moved there.
April 1959	The Minami-Kyushu Hososhima Office was opened at 667 Hososhima Hyuga City, Miyazaki.
December 1961	Set up a branch office and opened a warehouse at the pier of a commercial port in Kawashiro-cho, Tobata city (the current Kitakyushu city), Fukuoka. The office handled the just-in-time delivery of steel making materials (ferroalloy, rare metals, and zinc), so called "Dehokan-soko system" for Yawata Works of Yawata Iron and Steel Company (the current Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation) We sold this business and facilities to Nichijyu Trading Company in January 1976.
November 1962	As with the new plant construction project of Tekkosha (the current Tosoh Corporation) in Hyuga, Miyazaki, we bought a major share of Hyuga Transport Company, and Mr. Toichi Kagami, our president at the time became the president.
April 1964	With the construction of the Hyuga plant of Tekkosha, (the current Tosoh Hyuga Corporation), sets up Hososhima office in Hyuga, Miyazaki and launched into servicing and maintenance of the plant production line, on-premise stevedoring, longshoring, forwarding and customs clearance of materials.
June 1964	New class 1, 3, and 4 freight forwarding licenses for Keihin port acquired.
July 1964	The Atsugi Office was opened at 2500 Toda Nagabuchi, Atsugi City, and the ready-mixed concrete trucking business established. We sold this business to Showa Transport Company in January 1997.
April 1965	The Osaka Office was opened at 1-104 Edobori, Nishi-ku, Osaka City. In December of the same year, the domestic trade warehouse was renovated to a 3,967m ² 4-story reinforced concrete building, and construction of Takashima Berth Warehouse completed.
October 1967	The Osaka Office was moved to 4-1-5 Fukiai Isogami-Dori and the Kobe Office was established.
September 1968	As integrated iron and steel processes were established by lighting the 1st Blast Furnace at Kimitsu Works of Yawata Iron & Steel Company (the present Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation), we established a branch office and a ferroalloy warehouse (1,769m ² in the first construction period) on the premise of the Kimitsu Works and started to operate the "Dehokan" just-in-time delivery services of steel making materials, following Yawata Works.
October 1969	The second construction period of Kimitsu ferroalloy warehouse (1,074m ²) was completed as the 2nd Blast Furnace of Kimitsu Works was lighted.
July 1971	The Nissan Transport Warehouse and Sansei Transport Company established for the freight forwarding business at Keihin Port. The Class 1, 3, and 4 freight forwarding licenses for Keihin Port and the Yokohama customs brokerage license were relinquished to authorities as a result of the merger.
September 1971	The third construction period of Kimitsu ferroalloy warehouse (1,073m ²) was completed as the 3rd Blast Furnace of Kimitsu Works (which was capable of producing 10 million tons of crude steel per annum) was lighted.
March 1972	Tokyo Office and Kobe Office transferred to Nissan Transport Warehouse Co., Ltd. In October of the same year, the Koto Office was moved to within the premises of Toshiba Monofrax Co., Ltd. Located in Kouzaki Industrial Park, Katori-gun, Chiba Prefecture, and the Kouzaki Office was opened.
May 1976	Building materials, equipment sales, plumbing, air-conditioning and electrical work contractor business divisions were transferred from Hiyoshi Shoji Co., Ltd., and the Mechanical Engineering Department was established.
January 1980	We took a secondhand dealer license and began to trade vehicles, construction machineries, industrial machineries and its service parts.
April 1985	We set up an office in Yamagata Plant of Tosoh Corporation and began personnel servicing. With the closing of the plant, we closed the office in January 1999.
August 1985	With the removal of the automotive parts & components division of Mitsui Mining and Smelting Company, we set up an office in Nirasaki city, Yamanashi and began personnel servicing. We sold this business to Nirasaki Kosan Limited and closed the office in December 2001.
October 1988	We established Metropolitan Motors Limited as a dealership of BMW, and sold this company in April 2007.
April 1989	Established Hiyoshi Industrial Services Miyazaki Limited, various on-premise jobs at Hyuga plant, Tosoh Corporation were transferred.
December 1989	Hiyoshi Corporation of North America was established in South Bend, Indiana, U.S.A., very close to I/N Tek, a cold-rolling mill company, which was a joint venture between Nippon Steel Corporation (the present Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation) and Inland Steel Industries, Inc. (the present Mittal Steel Company, N.V.) to break business opportunities in U.S.A.
February 1991	By request from Nippon Steel U.S.A., Inc. (the present Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A., Inc.) and Mitsui & Company (U.S.A.), Inc., a Japanese restaurant "Hiyoshi" was opened in a building in 1st Source Bank Center, South Bend, IN.
September 1991	Part of the ferroalloy warehouse was refurbished as a bulk cargo storage space as the import of ferroalloy (bulk) increased.
September 1993	Hiyoshi Kaisoten obtained the license for general cartage and set up an office in Kimitsu, Chiba. Whole land transportation services at Kimitsu Works, Nippon Steel Corporation (the present Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation) were transferred from Hiyoshi Trucking Company, Limited.
September 1994	Due to poor sales prospects in the zinc "Dehokan-soko" business for CGL Mill I/N Kote, the Japanese restaurant "Hiyoshi" was closed and Hiyoshi Corporation of North America was liquidated.
September 1998	The fourth construction period of Kimitsu ferroalloy warehouse (248m ²) was completed.
February 2002	Construction of the Hiyoshi Building (7-story steel reinforced concrete structure, total floor space: 3,421m ²) was completed and business operations was started.
July 2003	An office was set up on the premises of the Kawasaki branch of the Toyo Wharf & Warehouse Company, Limited. We undertook storage, stevedoring and longshoring for steel scrap from Mitsui Bussan Raw Materials Development Corporation (the current Mitsui & Company, Steel Limited). We closed the office in February 2009.
May 2005	The examination for ISO9001 certification, a company-wide effort to commemorate the company's 90th anniversary, was completed and the certification was acquired.
August 2005	An office and an international private berth were established at Akane-hama, Narashino, Chiba. The office began to manage of Mitsui & Company, Steel Limited Hiyoshi-Akanehama Steel Making Materials Terminal and took acceptance inspections, storage, stevedoring, longshoring and other operations for steel scrap, ferroalloys and other products. We closed the office in September 2014.
October 2012	Set up Takehara office in Takehara city, Hiroshima started to operate the "Dehokan" just-in-time delivery services of raw materials, for Takehara Refinery of Mitsui Mining & Smelting Company, Limited.
January 2014	The fifth construction period of Kimitsu ferroalloy warehouse (824m ²) was completed. The total tonnage of crude steel that can be stored reached 12,000 tons.
October 2014	Celebrations to commemorate the company's 100th anniversary were held at the Peacock Room (East) in the Imperial Hotel.
January 2015	An 80-ton truck scale was set up in front of the Kimitsu ferroalloy warehouse at Kimitsu Works, Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation. In April of the same year, registration as a measurement certification business operator was completed by the Chiba Prefecture Inspection Institute of Weights and Measures.
March 2015	Received a certificate commemorating the 100th anniversary of establishment of a member company from the Yokohama Chamber of Commerce and Industry.
December 2016	Acquired certification as a safety excellence enterprise from the Japan Trucking Association. Also acquired certification as a Hands-on Support Company for the Consortium for New Export Nation from the Japan External Trade Organization.

株式会社日吉回漕店 Hiyoshi Kaisoten, Limited

創業 1914年(大正3年)11月3日

資本金 1億円(全額払込み済み)

役員

取締役社長 加賀美 公一

取締役 森川 隆司

取締役 福田 幸広

監査役 津村 和孝

Date of Establishment November 3, 1914

Paid-in Capital JPN¥100,000,000

Board of Directors

President and chief executive officer Koichi Kagami

Director Takashi Morikawa

Director Yukihiro Fukuda

Auditor Kazutaka Tsumura

主要取引先 (五十音順)

Major Customers

シンク・エクセル株式会社

新日鐵住金株式会社

全農グリーンリソース株式会社

東ソー株式会社

DOWA メタルマイン株式会社

日鉄住金物産株式会社

日鉄住金建材株式会社

新日本電工株式会社

日本重化学工業株式会社

阪和興業株式会社

丸紅テツゲン株式会社

三井金属鉱業株式会社

三井物産株式会社

南九州化学工業株式会社

Zinc Excel Corporation

Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation

Zen Noh Green Resources Corporation

Tosoh Corporation

DOWA Metals & Mining Company, Limited

Nippon Steel & Sumikin Bussan Corporation

Nippon Steel & Sumikin Metal Products Company, Limited

Nippon Denko Company, Limited

Japan Metals & Chemicals Company, Limited

Hanwa Company, Limited

Marubeni Tetsugen Company, Limited

Mitsui Mining & Smelting Company, Limited

Mitsui & Company, Limited

Minami-kyushu Chemical Industry Company, Limited

取引銀行

Bank References

横浜銀行

商工組合中央金庫

The Bank of Yokohama, Limited

The Shoko Chukin Bank

国民生活金融公庫

神奈川銀行

National Life Finance Corporation

The Kanagawa Bank, Limited

三菱東京UFJ銀行

宮崎銀行

The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Limited

The Miyazaki Bank, Limited

広島銀行

The Hiroshima Bank, Limited

営業拠点

Offices

本店 The Corporate Headquarters

〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町6丁目66番地 日吉ビル2階
電話 045-651-1441 (代表) ファクシミリ 045-651-1442
<http://www.hiyoshi-group.co.jp/>
Hiyoshi Bldg.2F, 6-66 Sumiyoshi-cho, Naka-ku, Yokohama 231-0013, Japan
TEL +81-45-651-1441 FAX +81-45-651-1442
<http://www.hiyoshi-group.co.jp/>



日吉ビル
The Hiyoshi Building

南九州細島営業所 Minami-kyushu Hososhima Office

〒883-0065 宮崎県日向市船場町1番地3号
電話 0982-52-2627 (代表) ファクシミリ 0982-52-6390
1-3 Funaba-cho, Hyuga-shi, Miyazaki 883-0065
TEL +81-982-52-2627 FAX +81-982-52-6390

宮崎県日向市細島港や近隣の港湾に発着する輸出入貨物(マンガン鉱石、燐鉱石、鉄スクラップ、木材、稚魚等)の通関や本船荷役、輸送等を東ソー株式会社や南九州化学工業株式会社、全農グリーンリソース株式会社、地場企業等から請け負っております。年間取り扱い数量は約7万トンです。

We have contracts with Tosoh Corporation, Minami-kyushu Chemical Industries Company, Limited, Zen Noh Green Resources Corporation and local companies to perform the tasks of customs clearance, stevedoring, longshoring and forwarding such materials as manganese ore, phosphorus rocks, steel scraps wood materials and juvenile fish, etc. from Hososhima and other local ports in Miyazaki. Approx. 70,000 tons of cargo have been handled every year.



細島港全景
Port of Hososhima

竹原出張所 Takehara Office

〒725-0026 広島県竹原市中央3丁目14番地10号
電話 0846-22-1228 ファクシミリ 0846-22-1229
3-14-10, Chuo, Takehara-shi, Hiroshima 725-0026
TEL +81-846-22-1228 FAX +81-846-22-1229

三井金属鉱業株式会社竹原製煉所向け原料の「出保管倉庫システム」の運用を請け負っております。

Takehara office manages "Dehokan" just-in-time delivery services of raw materials, for Takehara Refinery of Mitsui Mining & Smelting Company, Limited.

君津営業所 Kimitsu Office

〒299-1141 千葉県君津市君津1番地 新日鐵住金株式会社君津製鐵所構内
 電話 0439-52-0736 ~ 7 ファクシミリ 0439-52-5023
 C/O Kimitsu Works, Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation, 1 Kimitsu,
 Kimitsu, Chiba 299-1141
 TEL +81-439-52-0736, 0737 FAX +81-439-52-5023

八幡製鐵株式會社（現新日鐵住金株式会社）と主要納入メーカー、商社ならびに当社で1961年（昭和36年）に開発した究極のジャスト・イン・タイム・デリバリー方式「出保倉庫システム」指定運営業者として君津製鐵所構内に「出保倉庫（一部保税蔵置場含む）」を設置、合金鉄やレアメタル、亜鉛地金、その他の原材料や資器材など年間約15万トン超の貨物の本船荷役、受入検査、入出庫、保管、所内各工場向け輸送や原料バンカー、炉前の在庫管理、大型荷役機械や車輛を駆使した関東一円や遠隔地発着貨物の輸送などを請け負っております。複数の荷主様の製品、商品を一元的に管理・納入する事に依り、製鐵所はもとより納入メーカーや商社各社の輸送・在庫コストや在庫管理工数の低減、生産計画等諸情報の早期把握等のお役に立っております。



君津製鐵所全景
Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation Kimitsu Works



君津合金鉄倉庫
Kimitsu ferroalloy warehouse

倉庫 鉄骨造り平屋建て 4,186m²（保税蔵置場含む）
4.8t、3t天井走行クレーン各2基

車庫 鉄骨造り平屋建て、576m²

セミトレーラー 3 輛（40t、36t）バンセミトレーラー 1 輛（22.5t）

トラクター 3 輛（第5輪荷重 18t）

ダンプトラック 5 輛（10t）

フォークリフト 5 輛（5t、3.5t、3t）

Established warehouses (some bonded storage area) on the premises of the Kimitsu Works as the designated manager of the Dehokansoko system, the ultimate just-in-time delivery system developed in 1961 by Yawata Iron & Steel Company (the currently Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation), suppliers of steel making materials and Hi-yoshi Kaisoten. We have established contracts for the implementation of stevedoring, longshoring, acceptance inspections, storage and transport to on-premise plants, raw material bunkers, furnace inventory management and the transport of cargo consisting of ferroalloys, rare metals, zinc and other materials and resources amounting to more than 150,000 tons/year throughout the Kanto area and remote areas, utilizing large-scale cargo handling equipment and vehicles. We provide services that enable reductions in transport and inventory costs as well as management labor costs, take early steps to comprehend productivity plans and other reports for steel mills, suppliers of steel making materials through the uniform management and delivery of the commodities and products of multiple shippers.

Warehouse: Steel-framed one story warehouse 4,186m²(bonded storage area), 4.8-ton ceiling cranes 2 units, 3-ton ceiling cranes 2 units

Car shed: steel-framed, one story, 576m²

Semi-trailers: 3 vehicles (40t, 36t, 22.5t) Van-semi-trailer: 1 vehicle (22.5t)

Tractors: 3 vehicles (5th wheel load: 18t)

Dump-trucks: 5 vehicles (10t)

Fork-lifts: 5 vehicles (5t, 3.5t, 3t)

許認可事項 Licenses

倉庫業

運輸大臣免許 港倉第 321 号

発券倉庫業

運輸大臣免許 港倉第 185 号

一般貨物自動車運送業

関東運輸局長許可 関自貨 2 第 2211 号

Warehousing

License granted by the Minister of Transport No. 321

Note issuing warehousing

License granted by the Minister of Transport No. 185

General cargo automobile transporting business

Permission from Chief, Kanto Transport Bureau No. 2-2211

通関業

門可税関長許可 第 20 号

保税蔵置場

横浜税関長許可 調保指令第 63 号（君津合金鉄倉庫）

Customs clearance:

Permission from Chief, Moji Customhouse No. 20

Bonded storage areas

Kimitsu ferroalloy warehouse, licensed granted by the Director of the Yokohama Customs Office, license No. 63

古物商

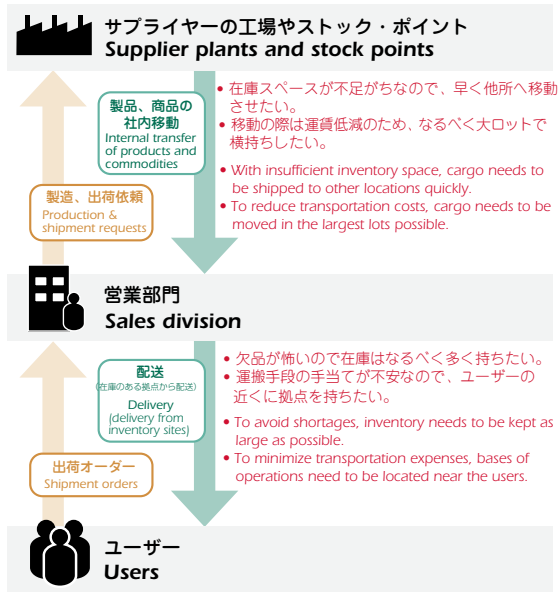
神奈川県公安委員会許可 加第 615 号
千葉県公安委員会許可 第 441080001013 号

Antique business

Permission from Kanagawa Prefecture Public Safety Committee No. 615
Permission from Chiba Prefecture Public Safety Committee No. 441080001013

在来型物流（生産優先プッシュ型）の問題点

Problems with conventional distribution (production-centric push-type)

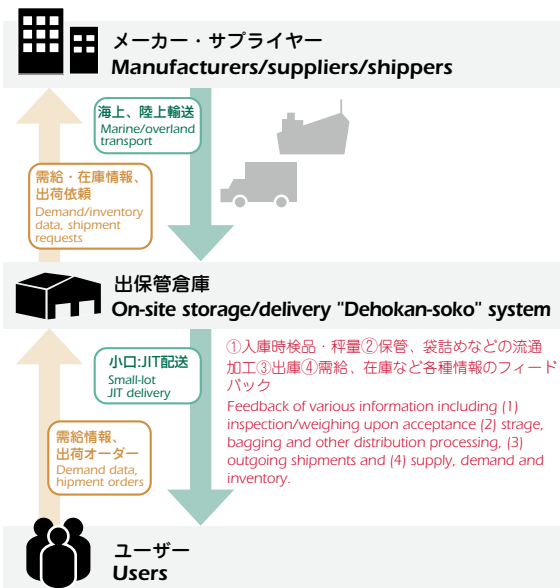


1. サプライヤーサイドの社内移動の増加。
2. 在庫偏在による欠品や緊急出荷、交錯輸送の増加。
3. 在庫拠点数の増加。
4. メーカーの場合、生産ラインの稼働を優先しがちで、需要に見合った在庫のコントロールが難しいことが多い。
5. 社内物流管理部門の権限が製造や営業部門に比べて弱い、あるいは在庫管理にかかわる権限と評価が一致しないため、流通在庫が膨らむ傾向がある。

1. Increased burden of internal transfers for the supplier
2. Increases in shortages, emergency shipments and mixed deliveries due to unbalanced inventory
3. Increased number of inventory points
4. Manufacturers tend to place priority on keeping the production lines moving, making it difficult to control inventory to match demand
5. Since distribution management divisions have lesser say than manufacturing or sales divisions, or since authority and assessment regarding inventory management are not consistent, distribution inventory tends to swell

当社オリジナル「出保管倉庫システム」によるユーザー需給計画優先プル型物流管理のメリット

Advantages of the pull-type distribution management based on our unique on-site storage/delivery "Dehokan-soko" system that prioritizes the consignees' supply-and-demand strategies



昭和36年に八幡製鐵株式会社と納入メーカー、商社ならびに当社で開発した当時としては画期的なジャスト・イン・タイム・デリバリー方式。

サプライヤーは、自らの生産・納入計画に合わせて、製品・商品を海上・陸上輸送で当社「出保管倉庫」に寄託、当社が複数の寄託者の貨物の入庫や在庫管理を一元的に行い、製鐵所内各工場のオーダー（一部当社の自主管理）で配送。ミル側は当社運搬車両のミルスケール秤量時に検収。

In 1961, Yawata Iron & Steel Company, suppliers of steel making materials and Hi-yoshi Kaisoten developed a revolutionary on-site just-in-time delivery "Dehokan-soko" system.

Suppliers submit their products and commodities to our "Dehokan-soko" warehouse via marine/overland transport based on their own production and shipping plans. We undertake warehouse loading/unloading and inventory management of the cargo of multiple consigning companies and deliver orders "partially under our management" to plants within the steel mill premises. The mills conduct acceptance inspections when they weigh our delivery vehicles on their mill scales.

出保管倉庫システムの導入

Implementing the Dehokan-soko system

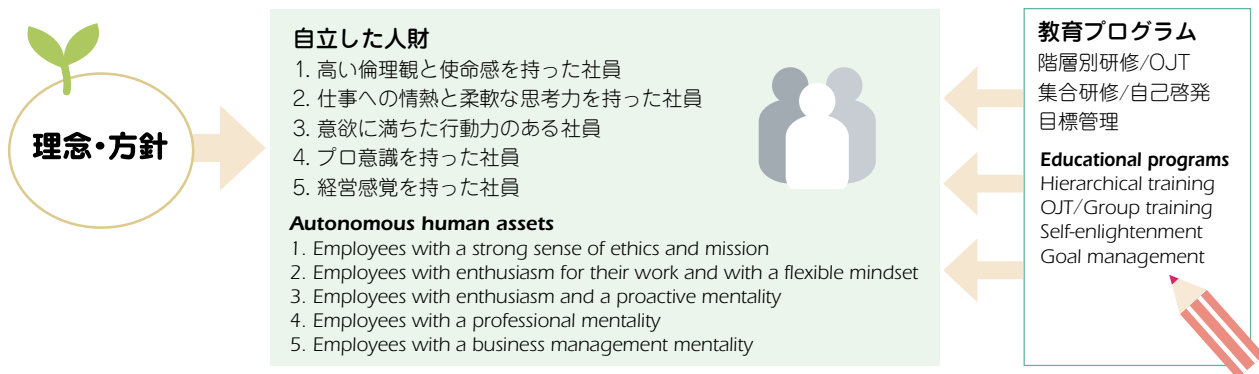
1. ユーザー敷地内や近隣に当社が倉庫を設置、入出庫や在庫を一元的に管理することにより、サプライヤー、ユーザー共にストック・ポイント設置費用や管理要員が不要（オフバランス化、固定費の変動費化）になりました。また、天変地異や様々な事故に起因する納入遅延や欠品によるライン停止リスクの回避が出来ました。
 2. サプライヤーが各々の生産・納入計画に従い適正ロットで製品、商品を陸路あるいは海路で出保管倉庫に寄託、当社に納入を委託することにより、各サプライヤーがそれぞれユーザー指定の小口ロットで JIT（ジャスト・イン・タイム）納入する場合に比べ、大幅に CO₂、NO_x 負荷の削減が可能になりました。
 3. ユーザーは JIT 納入による適時適量検収の実現で在庫の削減が出来ました。
 4. 当社がサプライヤーやユーザー各工場のご要望により検品や撒から小袋詰め等の流通加工サービスを行い、双方の工数やコストの大幅低減が実現しました。
 5. 出保管倉庫管理者と納入先各工場担当者の緊密な連携により、需給状況や在庫情報の迅速且つ的確な把握とユーザー購買部門やサプライヤーへの速やかなフィードバック、在庫管理報告書や在庫証明書の配信、手交が可能になりました。
1. We set up warehouses on user premises or in the near vicinity, eliminating construction costs "stock points" and labor costs "for management personnel" for suppliers and users "off-balancing, variability in fixed expenses".
- In addition, it is also possible to avoid delivery delays due to natural disasters or various accidents as well as production line suspensions caused by shortages.
2. Suppliers submit their products and commodities to the storage/delivery system in optimal lots through overland/marine transport, in line with their production and delivery plans and consign their delivery to us. Compared to JIT "just-in-time" delivery by suppliers in small, user-designated lots, CO₂ and NO_x emissions can be reduced dramatically.
3. JIT deliveries make it possible for users to reduce inventory by conducting acceptance inspections at the appropriate time and in appropriate quantities.
4. We provide distribution-processing services from inspections to small bag packaging of bulk cargo, realizing a reduction in both labor time and costs.
5. Close collaboration between the "Dehokan-soko" system manager and personnel in charge at the delivery plant makes it possible to keep track of supply and demand conditions and inventory information precisely and promptly, and provide prompt feedback to the user's purchasing division and to suppliers while conveying and delivering inventory management reports and inventory certificates.

人財教育、育成制度

Human resources training and education and training system

当社は、お客様にご満足いただけるサービスを提供するためには、単なる「人材」ではなく、「自律した人財」を育成することが不可欠だと考えております。そのために、各人の適性に応じたプログラムにより、キャリアアップを行なう制度を実施しております。

In order to provide services that can satisfy our customers, we feel that there is an essential need, not simply for "human resources" but to train "autonomous human assets." To that end, we implement a system for career enhancement through programs that reflect the competence of each individual.



宮崎日吉産業サービス株式会社

Miyazaki Hiyoshi Industrial Services, Limited

創業 1989年（平成元年）4月1日
資本金 1,000万円

役員

取締役社長 加賀美 公一
取締役 森川 隆司
取締役 福田 幸広
監査役 津村 和孝

Date of Establishment April 1st, 1989
Paid-in Capital JPN¥10,000,000

Board of Directors

President and chief executive officer Koichi Kagami
Director Takashi Morikawa
Director Yukihiko Fukuda
Auditor Kazutaka Tsumura

取引銀行

横浜銀行 宮崎銀行

事業

東ソー日向株式会社のライン・メンテナンスや工場構内諸作業の請負い

事業所

本店

〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町6丁目66番地 日吉ビル2階
電話 045-651-1441（代表） ファクシミリ 045-651-1442

日向営業所

〒883-0065 宮崎県日向市船場町1番地3号
電話 0982-52-0589 ファクシミリ 0982-52-6390

<http://www.hiyoshi-group.co.jp/miyazaki.html>

東ソー日向構内事務所

〒883-0065 宮崎県日向市船場町1番地 東ソー日向株式会社内
電話 0982-53-5371 ファクシミリ 0982-53-5371

Bank References

The Bank of Yokohama, Limited The Miyazaki Bank, Limited

Business

Various on-premise duties for Tosoh Hyuga Corporation

Offices

Headquarters

Hiyoshi Bldg.2F, 6-66 Sumiyoshi-cho, Naka-ku, Yokohama 231-0013
TEL +81-45-651-1441 FAX +81-45-651-1442

Hyuga Office

1-3 Funaba-cho, Hyuga, Miyazaki 883-0065
TEL +81-982-52-0589 FAX +81-982-52-6390

<http://www.hiyoshi-group.co.jp/miyazaki.html>

Tosoh Hyuga Plant Office

C/O Tosoh Hyuga Corporation
1 Funaba-cho, Hyuga, Miyazaki 883-0065
TEL +81-982-52-5371



東ソー日向工場全景写真
Tosoh Hyuga Plant

株式会社 日吉 Hiyoshi & Company, Limited

創業 1988年(昭和63年)4月1日
資本金 1,000万円

役員

取締役社長 加賀美 公一
取締役 加賀美 悠子
取締役 加賀美千賀子
監査役 津村 和孝

Date of Establishment April 1st, 1988
Paid-in Capital JPN¥10,000,000

Board of Directors

President and chief executive officer **Koichi Kagami**
Director **Yuko Kagami**
Director **Chikako Kagami**
Auditor **Kazutaka Tsumura**

取引銀行 事業

横浜銀行
不動産賃貸業 日吉ビル/サンフラット関内 部屋数34室
鉄筋鉄骨コンクリート造 7階建 延べ床面積 3,421m²

事業所

本店
〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町6丁目66番地 日吉ビル2階
電話 045-651-1441 (代表) ファクシミリ 045-651-1442

Bank References Business

The Bank of Yokohama, Limited
Office and residence space leasing
Hiyoshi Building / Sun Flats Kan-nai
7-story steel reinforced concrete structure, total floor space: 3,421m², No. of rooms: 34 rooms

Offices

Headquarters
Hiyoshi Bldg. 2F, 6-66 Sumiyoshi-cho, Naka-ku,
Yokohama 231-0013
TEL +81-45-651-1441 FAX +81-45-651-1442



日吉ビル
The Hiyoshi Building

